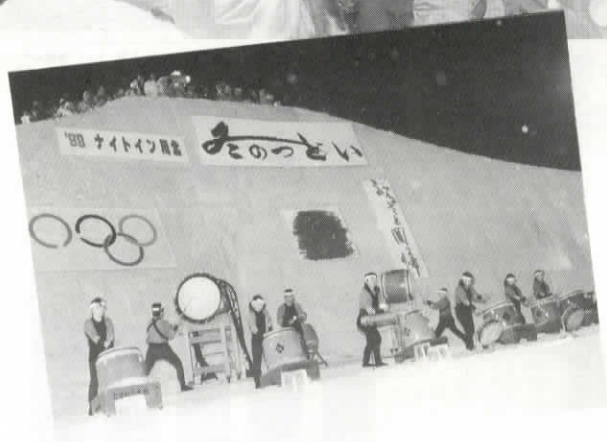




4千人でにぎわった「冬のつどい」

2月14日、ふるさと回帰「夢」をテーマに上田組球場で開かれた「'98ナイトイン川北冬のつどい」(同実行委員会主催)。

会場は、高さ10m、長さ40mのジャンボ滑り台の下がメインステージとなり、その周りには大中の雪像が並んだほか、「雪の美術館」では地元の芸術家の絵画や版画、写真などの展示会が開かれ人気を呼びました。イベントでは、子供宝さがしやウルトラクイズなどのゲームのほか、ふるさと花火の打ち上げが行われ、まつりを盛り上げ、厳しい寒さを吹き飛ばすような歓声が会場に響きました。

会場を訪れた約4千人は、楽しい冬のひとときを過ごしました。

- ◆明日の農業の飛躍を目指し
こんな取り組みをしています
- ◆座談会「“忠類川”の経済効果と今後の取り組み」

明日の農業の飛躍を目指し こんな取り組みをしています

先月号の「漁業」に引き続き
今月号は、外国の輸入攻勢の中
で前進しつづける「農業」の取
り組みについて紹介します。

平成九年度の牛乳の生産量
と金額、個体の販売金額

☆牛乳

・生産量…六万六千四百四十二ト
・生産金額…四十五億四千八百
九万円

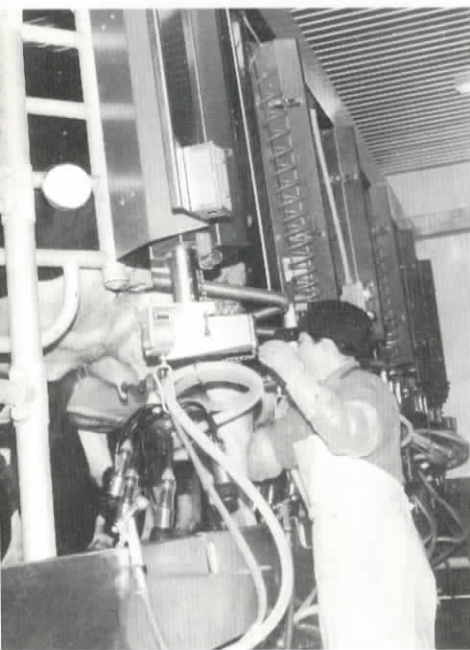
☆個体

・販売金額…十三億六千六百万
十七万円

※以上の数字は、平成九年四
月～平成十年一月までのもの
※生産量・金額などの推移は、
下のグラフを参照

取組み

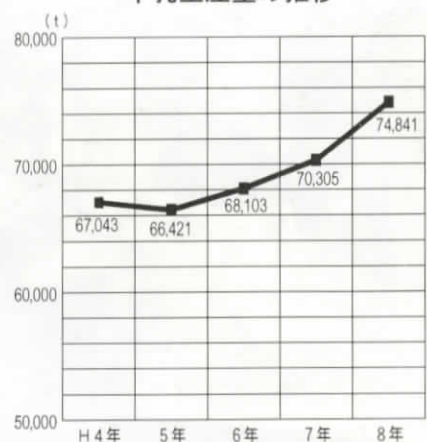
足腰の強い農業の確立に向
け各種公共事業を展開



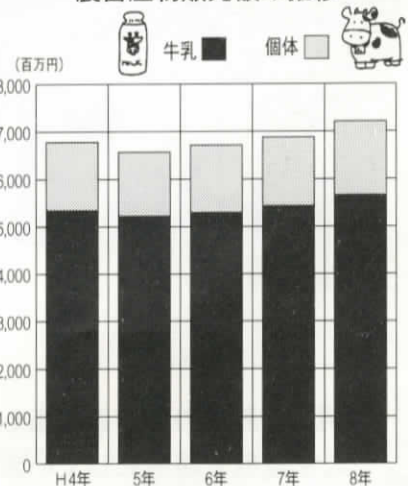
本町の農業は、昭和三十一年
に集約酪農地域の指定を受けて
以来、第一次、第二次の農業構
造改善事業など各種補助事業の
実施により、大型高効率機械の
導入とともに、農道や営農用水
の整備、農地造成を急速に押し
進め、今日の酪農基盤をつくり
上げてきました。

その後も公社営事業により、
草地整備や畜舎、家畜ふん尿利

・牛乳生産量の推移



・農畜産物販売額の推移



活用施設の整備など自給飼料の
生産性向上や規模拡大への対
応、酪農の生産環境整備に積極
的な取り組みを図ってきました。

本年度からは、四年計画の予

定で新たに「公社畜産基盤再
編総合整備事業」がスタート。

大型化した酪農生産基盤の再整
備と生産性の向上に向けて、草
地整備や家畜ふん尿利用施設
整備を中心に事業を展開。さら
に、この事業と連動して「北海
道二十一世紀高生産基盤整備促
進特別対策事業」に取り組み、
町も上乗せ補助を行うことで事
業費の農家負担が5%となる負
担軽減を行っています。

また、台風などの洪水時に草
地の冠水や崖崩れ、道路の決壊
が懸念されていた薫別開拓パイ

ロット地区の草地に、本年度か
ら五年計画で国営事業の基幹排
水路整備に着手。効果的な排水
対策によって当地区の農地や営
農路線の保全が期待されていま
す。

農業の生産基盤は、農地や道
路だけではありません。農地の
保温、風害や水害緩衝地として
の耕地防風林の役割は極めて重
要なものです。また、これらの
林帯が総合的に発揮する公益的
機能も私たちの生活や環境保全
に欠かせないものとなっています。

このため、町では農家のみな
さんとの連携のもとに平成六年
度から公的分収林整備推進事業
により毎年植林を実施。本年度
までに約五十二歳の耕地防風林
を整備しており、今後も農地の

農業者の声…

家畜ふん尿の有効利用で「クリーン農業」



田中 憲司さん
(北標津)

家畜ふん尿の堆肥化による資源の有効利用を図るため、二年前に「屋根付き堆肥舎」を整備。肥料代の節約のほか農村環境の改善、環境汚染の防止など「クリーン農業」につながっていると思う。今後、土・草・牛づくりのバランスをとりながら、いかに良い牛乳を生産できるか、農協などと連携しながら経営努力していきたい。

消費者に喜ばれる良質牛乳を生産したい



徳橋 博人さん
(茶志骨)

牛乳は安全な栄養食品。みなさんに喜ばれて消費されることが何より。そのため私たちは、良質な牛乳を一生懸命生産したい。今後は、若い後継者が研修の場に出ることが重要。外に出て視野を広めなくては…。また、ここ数年、酪農家も環境保全に力を入れてきている。まち全体の問題でもあるので、今後も推進していくべきだと思っている。

保全や牧草収量の向上のため計画的な実施を行っていきます。
「資源循環型酪農（有機低コスト酪農）」を推進

健康な土を作り、安全でおいしい農畜産物を生産することが農業の役割です。酪農では、大量に排出される家畜ふん尿を有用な堆きゅう肥として土に返すことが基本であり、このことが良質な牛乳の生産と低コスト経営への重要な鍵となります。

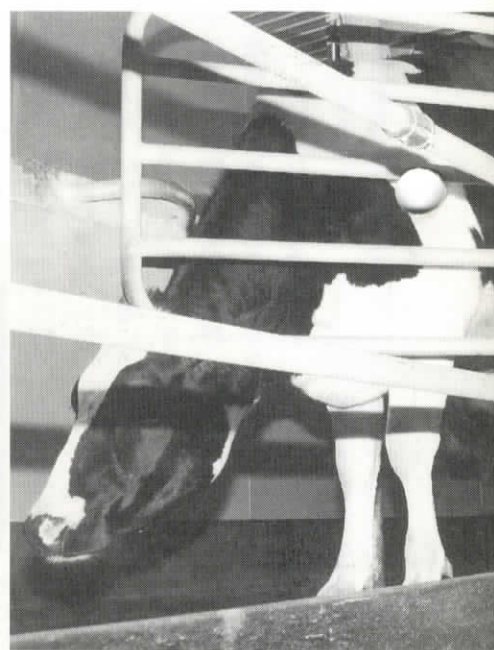
また近年、温暖化やオゾン層の破壊など地球規模での環境問題や身近な自然環境への関心が高まる中で、環境と調和した農業の促進が課題となっています。こうした背景の中、町は他町村にさきがけて「屋根付き堆肥盤」を整備し、家畜ふん尿の堆肥化による「資源循環型酪農」の確立と農村環境の改善を図り、環境汚染を未然に防止する対策を

強化しています。道単独事業の「畜産クリーンアップ促進事業」もその一つで、本年度は酪農家五戸が屋根付き堆肥盤を整備。また、町の独自施策である「家畜ふん尿コンポスト化推進事業」も連動して行い、一施設当たり二百万円の上乗せ補助をしています。

さらに「北海道農業元気づくり事業」を活用して、これまでに三十五戸の農家が黒ボクによるパドック（牛の運動場）の整備や飼槽（牛に食べさせる飼料

を入れる容器状の構築物）の亀裂補修を行い、牛舎周りの環境改善や牛の疾病防止、乳質改善を積極的に進めています。

本年度の特筆すべき点として、本町で生産される牛乳の質が根室管内九農協の中で体細胞関係で三位、生菌数関係で二位の好成績をあげ、飛躍的に向上していることが、道生乳検査協会の調査で明らかになりました。これは農家のみなさんの日々の飼養管理と乳房炎等疾病の早期発見、また乳質改善協議会



「ミルキング・パーラー」での搾乳のようす
(茶志骨・大西牧場)

農業先端技術導入による高品位牛の確保と生産性向上を目指す

標準農協は、平成七年度から町の補助を受け、黒毛和種の受精卵移植を進めています。

この事業は、全国農協連合会から優秀な系統の黒毛和種受精卵を農協が買い入れ、酪農家が飼育するホルスタイン種（乳用種）の初妊牛に移植し、生まれた黒毛和種の子牛を町内の肉牛飼養農家に安く供給するものです。これまで百七十五個の受精卵から八十四頭が生産されています。

担い手の育成と確保に向けた農業後継者対策の推進

また、本年度からは乳用牛の高能力牛生産のための受精卵移植事業にも着手。高泌乳・高タンパク乳の消費者ニーズに合わせた乳用牛を作り出すことをねらいとして行われ、黒毛和種と合わせ今後の事業の進展が期待されています。

さらに、経営面を含めた農業生産の一翼を担う酪農家の女性、とりわけ酪農経験の浅い女性にスポットを当てた「デイルーゼミナール」を本年度七回開催し、延べ八十人が受講。農村環境整備の面で優れた先進農家や乳産加工施設の視察、酪農の基礎知識などを習得しました。

役場内に地熱開発調査 現地事務所開設

通産省の外郭団体として地熱開発促進調査を行っている「新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO)が武佐岳地域で実施している同調査が本格化することから二月一日、

役場内に同機構地熱調査部武佐岳調査事務所(佐藤義雄所長)を開設しました。

NEDOでは、平成五年度から八年度にかけて本町の金山地区と中標津町の養老牛地区を含む約三百平方メートルの山地でボーリング調査を実施。結果、地熱発電に必要な二二〇〜二三〇度を大きく超える二六四度と高温の地熱が確認され、本年度から範囲を狭くして詳細な調査を実施しています。

この調査では、温度の広がり



や地熱貯留層の存在を確認することを目的に、すでに実施している地表調査や動植物を含めた環境調査のほか、二千メートル級のボーリング調査などを平成十一年度まで実施する計画です。

本格的な調査を前に開設された事務所は、同所長と女子所員の二人体制。現地の情報収集や各種手続き業務、役場や保健所との調整、掘削などの作業のサポート役としての業務に当たります。

実際の地熱発電に至るまでににはまだ十分な調査期間と調査結果の分析が必要であり、早急に実現するというものではありませんが、河川や水源など環境への影響がないクリーンなエネルギーとして、また地熱利用の可能性など、本町としても将来に向け期待を寄せています。

詩の世界に聴き入る

「詩と音楽の夕べ」



中学時代から詩の創作活動を始め、現在インテリア業界紙にエッセイを連載しているなど活躍している今泉みゆきさん(神奈川県在住)による「詩と音楽の夕べ」が「あすばる」で開かれ、約百人の町民が訪れました。

町内の有志でつくる「今泉みゆきさんの詩を聴く会」(加藤勝広会長)の主催。同会のメンバーが自然が大好きという今泉さんと山登りを通じて知り合い、今泉さんの詩に共感したのが開催のきっかけ。

会場では、今泉さんの撮影による大自然を映したスライドやピアノの生演奏と静かなBGMをバックに詩が朗読されていき「日常や旅先などで出会った自然の中で、ふと感じたことや感

動したことを一番大切な人に伝えたいという気持ちで詩を創っています」と、詩を創る際のエピソードも紹介されました。会場を訪れた町民は、今泉さんの詩の世界に聴き入っていました。

四島交流に貢献の 福沢さんに感謝状



長年にわたり北方四島交流事業のホームステイやホームビジットを受け入れている福沢英雄さん(57歳・望ヶ丘町)に二月九日、小田桐町長から感謝状が贈られました。二月七日の「北方領土の日」にちなみ授与されたもので、福沢さんは平成四年からホームステイ三回、ホームビジット二回を受け入れ、日露関係の相互理解と友好を深め、北方領土問題解決のための雰囲気づくりに寄与されました。

標津漁協の調査船が薫別沖で珍しい白いウニ四個（殻長約五〇ミリ七〇ミリ）を捕獲、話題となっています。

同漁協では、サケやホタテ以外にも漁業の対象として期待できる魚種の試験事業として、平成元年から種苗放流事業などを実施。このウニは、二月三日、四日に行われたウニ資源調査で、平成五年に放流した種苗五十一万粒のうち、今回、薫別沖の海底から取り上げられた一万

珍しい「白いウニ」を捕獲



九千個の中に混じっていたものの。一度に四個もの捕獲は大変珍しく、アルビノという色素異常が原因の突然変異で、自然界では目立つために外敵に見つかりやすくほとんど若いうちにエサになってしましますが、放流時の殻長が約二〇ミリと大きかったことから、外敵に食べられずに成長したものと考えられます。

このウニは現在、サームン科学館と同漁協の水槽で飼育していますので、ぜひご覧ください。

あなたの健康は？

健康まつりに三百人

「さがそう 見つけよう 私の健康法」をテーマに、しべつ健康まつり（伊藤一枝同実行委員長主催）が二月一日、「あすばる」と「ひまわり」で開かれ、約三百人が会場を訪れにぎわいを見せました。

会場では、「足の裏健康測定コーナー」、「食を通して健康を考えるコーナー」などを開設。中でも骨のカルシウム分を測定する「健骨度チェックコーナー」では順番待ちができるほどの人気ぶり。このほかに幼児を対象とした「ハイハイ・ヨチヨチ障害物競争」も行われ歓声が上がりました。

また、町健康づくり推進委員や町職員によるオリジナルの健康劇も披露され、参加者は楽しみながら健康づくりの知識について学びました。



全国高校スケート2冠の大菅選手が優勝報告



目指せ！オリンピック

た。

一月の福島県郡山スケート場で行われた第四十七回全国高等学校スケート選手権大会の女子五百斤、千斤で見事二冠を達成した本町出身の大菅小百合選手（帯広・白樺高二）が二月十九日、役場を訪れ木下助役、岡部教育長に優勝を報告しました。

大会では、五百斤41秒14の大菅選手に木下助役は、「町民挙げて応援しています。体に気を付けて、オリンピックを目指し

てがんばってください」と激励しました。

◇大菅選手にインタビュー◇
スケートの名門・白樺での練習はどうですか。
一年生の時はきつかったです。今は自分で考えた練習ができる余裕が出てきました。
課題は。
三千斤までの長距離を滑れることと、姿勢を低くして滑ることを監督から言われていました。

今後の抱負は。

まずは、インターハイ二冠が目標。そして全日本スプリントで日本代表に選ばれること。さらに四年後のオリンピックに出場することです。



標津スプリント

2月11日に標津スプリント選手権大会が町営リンクでまた15日には町民スキー大会が町営金山スキー場でそれぞれ開かれました。

小学生から大人まで参加。長野オリンピックに負けないようなスケートとスキーの見事な滑りに、観衆から盛んな声援が送られていました。

町民スキー大会





答申書を小田桐町長に手渡す吉田座長（写真上）。基本計画（案）を関係者に説明する祭り検討委員（写真右）



新たな標津町の 「祭り基本計画（案）」が 町長に答申されました

祭り検討委員会（吉田智座長・委員二十九人）は二月十六日、新しい祭りの創造についての基本計画（案）を小田桐町長に答申しました。

答申は、「標津町ストーリーのあるまちづくり構想」の中に盛り込まれている「誇りと伝統をもつ芸能文化の創造」を目的としたもので、平成八年七月に同委員会に対し町長が諮問。以来、一年八カ月の間、祭り創作の会議二十回を経て「標津らしい特色をもった町民が総参加する」祭りの基本計画について検討し策定されたものです。

内容は、本町の貴重な資源である「水」に感謝、「水」を守るという意義のもと、この自然環境を育み、産業の繁栄を願い未来へと引き継いでいくという「決意」を祭りの開催の最大の目的としています。

実現にあたっては、十分な町民への周知をし、理解をいただき、町民総参加体制となるための意識高揚が必要との提案が示されました。

答申は、生涯学習センター・あすばるで行われ、同委員会十六人と町長をはじめ町幹部職員ら九人が出席。同委員会から、本町の「命の水」の源であるウラップ川の源流の状態を現地調査したことや、町民へのアンケート調査を実施しながら今日に至った経緯について説明されました。

答申を受けた小田桐町長は、「極めて奥の深い素晴らしい内容。今までにこれだけ検討した祭りは無かった」と評価。平成十一年を実現の年にとの提案については、「平成十一年は、開



答申では「水」がテーマ
（写真はウラップ川水源池）

基百二十年にあたり、町としても記念行事に取り組んでいきたい。祭りもそのような時に、住民の多くの方の参加とご理解により実施することが、開基百二十年にふさわしい」と。実施にあたっては、「町内の各組織、団体の賛同をいただきながら町民が喜んで参加してもらえる雰囲気と町全体が祭りを受けていく体制づくりが重要」との考えを伝えました。

町としては今後、町民主体の祭りとなるために、各組織・団体・企業へこの基本計画を説明し、意見や提言をいただく中で町民の方々の参加を基本とする実行委員会組織の設立に向け、行動を展開していくこととなります。町民のみなさんごの支援とご協力をお願いします。

「ふるさと切手」の 初版を町に寄贈

北海道郵政局がこのほど発売した今年の「ふるさと切手」の初版が、標津郵便局から町に贈られました。

その年の切手の絵柄を自治体の花や木に指定している市町村に贈られているもので、今年の絵柄は、花が「芝さくら」で木



が本町の町木となっている「ナカマド」。

二月九日、同郵便局の朝倉局長から盾に入った切手が小田桐町長に手渡され、贈られた切手は町長室に飾られました。

領土への思いを 訴える

「北方領土の日」
少年弁論大会

北方領土の日の二月七日、
北方領土隣接地域振興対策
根室管内市町連絡協議会
(会長・大矢快治根室市長)
主催の根室少年弁論大会が
根室市総合文化会館で開か
れ、管内の十人の中学生が
北方領土への思いを訴えま
した。

本町から参加したのは、
郷野由継くん(標津中三年)
と上田明日美さん(川北中
三年)の二人。審査の結果、
郷野くんが北隣協会長賞に、
上田さんは大会長賞に選ば
れました。

二人の発言要旨を紹介し
ます。

「この色丹島をはじめとする北方領土は、確かに日本の領土であって、返還できるのなら私は日本に島を返したいと思っています」。同席していた斜古丹地区の元村長さんは、「日本人と共にこの島で暮らしたい」と話していました。

これは、昨年八月にビザなし交流で私が色丹島へ渡り、ホームステイ先で領土問題を話した時に、ロシア人島民が言っていたことです。初め

は、自分の耳を疑

いましたが、この言葉を聞き、ロシア人に対する見方や考え方がすっかり変わりました。

私は、日本に島



近くて遠い島での 体験

郷野由継くん
(標津中3年)

ないためにも、他民族と仲良く平和に暮らしていくことが使命のような気がします。

このことから、私は次のようなことを行ってみればよいのではないかと考えました。

それは、日本側からは元島民と、その二世・三世といったこれからの時代を生きる人たちがロシア側からは、現在の島のそれぞれの年代別に代表が集ま

が返還されることは一番望ましいことであると思います。しかし島には、島で生まれ育った人や、一人暮らしの老人もいます。そのことを考えると、日本人とロシア人が共に暮らすことが互いに良いことであると私は思います。

私にとって、ほんの少しの間のホームステイを通しての島民との交流でしたが、私たちが目指す二十一世紀は、世界が一つになり、二度と悲劇を繰り返さ

り、北方領土をどうしていったらよいか、地球的規模の発想をもってそれぞれが知恵を出し合い、お互いをひとつと深く理解し交流することです。このことが、返還運動への力ギになるのではないかと思います。

今年もまた、ビザなし交流や返還運動が行われますが、私は島のために協力できることは、進んで参加していきます。国民一人ひとりの手で共存の道をみつけようではありませんか。

私

は、今まで笑顔について考えたことがありませんでした。でもこの夏、ロシア人と交流することにより、笑顔の大切さを教えられました。

昨年六月のことでした。私の家に色丹島から二人の女の子がホームステイにやって来たのです。受け入れる前は、いろいろなことでとても心配でした。

そして、ホームステイの日。

始めは、まったく言葉がわからず、緊張して笑顔

を見せることさえ

できませんでした

た。でもそんな時、

一人のロシア人の

女の子が会話集で

「楽しい」と言う

言葉を指で差して

くれました。私はその時、女の

子の笑顔から「笑顔でいれば相

手も笑顔を返してくれる」と教

えられた気がして、言葉がわか

らなくても、表情などから言

いたいことがわかるようになりま

した。

それから一ヶ月後、私はビザなし訪問団の一員として国後島を訪れました。行く前は、不安がありました。心の中で「笑顔があれば大丈夫」と自分に言い聞かせました。

国後島を訪れて改めて実感したのが笑顔の大切さです。私は笑顔がどんな言葉よりも大切で、私たち一人ひとりが持つている忘れてはいけない、かけがえのない大切なものだ。そして、ロシア人が教えてくれたやさしさも、大切な思い出の一つなので、これからも忘れないようにしたいです。

私は、このような交流を終え



笑顔が教えてくれたこと

上田明日美さん
(川北中3年)

て、今まで関心のなかった北方領土問題について意見を持つようになりしました。それは、ロシア人の人たちと一緒に住むことです。これはとても難しいことですが、いつか実現することを願っています。

そして、昨年の交流で出会った人たちにまた会える日が来た時のためにロシア語を勉強したいです。それにロシア人に教えられた笑顔でこれからもこのような交流に参加したいです。

出席者

忠類川サケマス有効利用調査
実行委員長・標津漁協組合長

鈴木 輝英さん

町商工会長

後藤 一郎さん

道スपोर्टフイッシング
協会副会長・標津支部長

藤本 靖さん

町観光協会会長

千葉 元さん

町旅館業組合長

柴田 久男さん

町料飲店組合長

沢向 博さん



忠類川サケマス有効利用釣獲調査がスタートして三年が経過。その間、全国各地から多くの釣り人が本町を訪れました。本町に及ぼした経済効果は。そして、今後の取り組みは。そこで、関係者による忠類川に関する座談会を開きました。

さっそくですが、まずはじめに、忠類川サケマス有効利用釣獲調査を実施しようと漁協が発案して始まったわけですが、この調査の始まった経緯については。

座談会

“忠類川”の 経済効果と 今後の取り組み

鈴木 四年前の魚価安及び忠類川の捕獲の廃止に伴い、河川での密漁の防止や管理などを考え、いかに資源を有効利用していくか協議を行ってきました。その結果、釣獲調査を実施することにより、河川管理を兼ねた資源の有効利用を実施できないか道に打診してこの調査を実施することに至った訳です。実施に当たっては、漁業資源として増殖に取り組んできた漁業関係者から、釣りとしての資源利用については難色を見せる人もいましたが、川の性質上、また管理の問題について地元漁業者の忠類実行組合との協議の結果、釣りとして、食材としての可能性、環境教育の場づくりによる本調査を行うことになりました。

この調査がマスコミなどで紹介されたことでサケの水揚げ日本一の標津町として知名度が上がり、サケについても高評価につながっていると思います。もし、この調査を実施しなかったことを考えると、密漁により河原にサケの死骸が放置されたりして、このことがマスコミで報道された場合、標津のサケのイメージダウンになっていたのではないかと思います。

釣り人には大反響

「日本の忠類川」に

この調査が始まったことにより、釣り人の声は。

藤本 日本で初めての試みということで、釣り人に対してはものすごい反響で、道外にも広まっています。今では、「標津の



全国各地から多くの釣り人が訪れた忠類川

忠類川」というよりも「日本の忠類川」と言っているほど注目されています。また、釣り場でゴミがないなど、環境の面についても素晴らしいと評判です。

柴田 テレビや雑誌などのマスコミに大きく取り上げられ、調査開始以来、毎年道内外から多くの釣り客が訪れています。昨年の釣獲調査の従事者数は延

が、この調査で町内に宿泊した人数は。

経済効果は約1億3千万円にも

商工会では、これらのまに及ぼした経済効果を試算したのですが、ど

沢向 滞在者が増加しているため、料飲店の利用も増えていきます。私たちは、地場産の新鮮な海の幸をできるだけ提供できるように努力しており、それが一番お客さんに喜ばれているようです。

町内の料飲店への影響は。釣り情報提供などのサービスを行っています。今後についても、記念の魚拓の作製、当初予定していたイクラづくりサービスなどについて再検討を行っていきたいと思います。

旅館業組合としても、昨年はサケのイラストが入った歓迎のぼりを設置したり、食事の際の地場産品の提供や気軽に調査に従事してもらうための胴長や竿の貸し出し、忠類川への送迎、釣り情報の提供などのサービスを行っています。今後についても、記念の魚拓の作製、当初予定していたイクラづくりサービスなどについて再検討を行っていきたいと思います。

「忠類川」の調査従事者数と町内宿泊者数

(単位：人)

	調査従事者数 (延べ人数)	釣り人宿泊者数 (延べ人数)
平成7年	4,440 (道内 4,115 道外 325)	527 (道内 290 道外 237)
平成8年	6,702 (道内 4,760 道外 1,942)	1,756 (道内 610 道外 1,146)
平成9年	6,678 (道内 3,672 道外 3,006)	2,896 (道内 537 道外 2,359)
計	17,820 (道内 12,547 道外 5,273)	5,224 (道内 1,437 道外 3,787)

のような結果に。後藤 本年度で一億二千六百九十五万円(十二月一日現在)という経済波及効果の額を試算しましたが、これはあくまでもこの調査での釣り人の消費額と宿泊者一人当たりの観光消費額を基礎に算出したもので、これにマスコミ関係などを加えるところの額以上に数字が大きくなってきます。

かにも海釣りで多くの釣り人が訪れていることに着目し、関係団体と連携を取りながら、さらに釣り人の声を聞きながら受入体制を整えていきたいと思ひます。

この忠類川を観光資源としてとらえた場合、どのような評価を。

千葉 観光協会では、滞在型観光を目指していたところですが、この点で忠類川は非常に効果を上げています。忠類川のほ

調査が三年目を迎え、マスコミなどに大きく取り上げられるようになったことから、全国から多くの釣り人が訪れるようになりました。町としても標津町をPRしていくため、マスコミの取材には積極的に対応しています。このようにテレビや雑誌などで標津町が紹介されていますが、これを

どう水産振興に生かしていくかについては。

鈴木 サケの水揚げ日本一、鮮度対策をもっと国内にPRし、標準産サケの知名度アップによるブランド化に貢献してもらうなど、水産振興に最大限生かしていきたいですね。

話は変わりますが、釣り人のマナーは守られているようですか。また、実際に従事した人の反応は。

藤本 マナーについては、一年目より二年目、三年目と年が経つことに良くなってきました。道外などのマナーの良い人が集まってくるのも影響しているのではないのでしょうか。

忠類川のほかに、道内では茶路川（白糠町）と元浦川（浦河町）で昨年から釣獲調査が行われていますが、このことについて。

藤本 北海道で同じようにこのような釣りができることは良いことだと思えます。でも、本町の忠類川は、アラスカ、カナダに負けない醍醐味やマナー、環境においても「ナンバーワン」の声を聞いています。

これからのような点で、

忠類川の釣りに対しての質の向上、維持を図っていききたいですね。

釣り客側に立ったきめ細かなサービスを

町内に宿泊する釣り客への対応として、どのようなサービスの提供を行っているますか。釣り人から要望などはありますか。また、今後の取り組みは。

柴田 先程も話しましたが、旅館業組合では、そのほかに観光業者とタイアップしたプランについても行っていききたいと考えています。そして、さらに釣り客側に立ったきめ細やかなサービスの改善を図っていききたいと考えています。

沢向 料飲店組合では、標準の前浜の海の幸を主体とした標準ならではの味を提供していきたいですね。

「サーモンチャンピオンシップ」を実施

後藤 商工会では、昨年から「サーモンチャンピオンシップ」を実施しています。これは、期間中、体長の一番大きいサケとマスを支那川の管理棟に掲示



2月10日、生涯学習センターあすばるで開かれた座談会

し、最終的に上位各三人に標準の産物を賞品として贈るものです。いずれにしてもこれだけ多くの釣り人が訪れているのですから、商工会としてもこのほか

にもいろいろ取り組んでいきたいと思っています。

まちぐるみでの取り組みを

千葉 観光協会では、地場産品を用いたオリジナルメニューを開発しようと料理教室を、また、魚拓講習会などを開いており、釣り人へのサービスの提供に取り組んでいます。

本町を訪れた観光客からは、地場産品や忠類川グッズ、朝市などがあれば良いですねといった声が寄せられています。こうした点について、観光協会としても取り組む必要があると考えています。

宿泊先は釣獲情報の提供を

藤本 忠類川釣獲調査の釣獲情報を宿泊予定者などに知らせるはどうか。さらに宿泊施設で忠類川の釣獲状況を掲示できればいいですね。

鈴木 釣り人から、宿泊先への要望についていろいろとお聞きしますが、やはりきめ細やかなサービスの提供が一番だと思います。

いずれにしても、漁業、農業の第一次産業をみなさんに利用

してもらい、町の活性化につなげていければと思います。漁協としてできることがあれば協力していきたいと考えています。

藤本 連泊する釣り人から、日曜日に商店、料飲店の開店を望んでいる声があります。

後藤 その点は、商工会としても前向きに改善していかなければならないでしょうね。

沢向 料飲店組合でも釣り人のためにローテーションで開店するなど検討していきたいと思っています。

藤本 東京では、川釣り用のサケの釣具の輸入が五割アップしたと聞いています。町内だけではなく、いろいろなところで経済波及が起きているんですね。

忠類川の今後は。

鈴木 今後、漁協が漁業権の取得に向けて道などと協議していくことになりませんが、諸条件をクリアできるまでは正式なサケ・マス釣りの解禁がされない状況から、四年目となる本年も調査として従来どおり実施していくことになると思います。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

お魚百科

最終回

サーモン科学館
市村 政樹学芸員

冬の オホーツク海



今年もようやく標津の沖でも流水（海水）が見られる季節になりました。

流水は多大な漁業被害を与えることがあるため、以前は単なる邪魔者でしかないと考えられていました。しかし、流水の研究が進むにつれ、実は多くの植物プランクトンを育み、それにより水産資源に多くの恵みを与えているということが明らかになってきました。

また、冬のオホーツク海は流水が覆いつくす厳しい自然環境であるためか、不毛の海という

イメージがありました。ところが、実際に変わった生き物が数多く生息している豊かな海なのです。最近、テレビなどで紹介されるのが多くなり、この事実も知られるようになってい

ます。標津サーモン科学館では、ゴールデンウィークに合わせ四月二十五日から「オホーツクの愉快な仲間たち（仮称）」という特別展を行う予定です。この特別展の中で、この付近にいる変わった生き物たちをいくつか展示する予定です。

今回は最近すっかり冬のオホーツクを代表する生物になった「クリオネ」と、また昔から冬のオホーツクの代表であった「流水」とシロザケとの関わりについて紹介します。

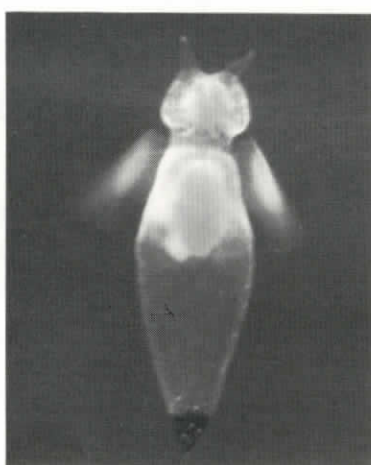
クリオネ

クリオネは和名をハダカカメガイといい、貝殻を持たない貝の仲間であるということは、多くの人が知っていることだと思います。

最近、テレビなどでとりあげられることが多くなりましたが、その場合ほとんど流水とセットになって紹介されています。そのためか、流水がなければ

ばクリオネはいないと思ってい

る人が多いようです。しかし、この近辺では流水がくる前にも、また、流水が消えてからも、しばらくは観察できるそうです。また、北洋では流水が無い夏の時期でも、クリオネは生息しているそうなので、流水が無いとクリオネがいけないというわけではありません。



“水の妖精” クリオネ

に近い大きさのものも捕食しています。その姿を見るととても「妖精」とは思えないほどグロテスクなものです。

以前、水産庁が北洋で行ったサケ属の魚の胃内容物調査によると、ベニザケ、カラフトマスといったシロザケ以外のサケの仲間の胃にはクリオネがほとんど入っていないことも、シロザケの胃にはクリオネが大量に入っているという場合が多いそうで

す。シロザケはクリオネが大好きなものかもしれません。

現在、標津サーモン科学館でも展示していますので、ぜひご覧下さい。

流水

あまり知られていないのですが、道東地域は北半球で最も南に海水（流水）が見られる地域なのです。

平成六年には標津でも、ゴールデンウィーク頃まで流水が見られました。そのころ、標津サーモン科学館と姉妹提携をして

いるカナダのノースバンクーバーにあるキャピラノふ化場の技術者が

標津に研修に来ていましたが、流水を見てかなり驚いていました。ちなみに、バンクーバーの緯度は、アジア側というサハリンの中央あたりにありますので、標津よりもかなり北にあります。ところが、北米の太平洋側では、流水の南限がアラスカ近辺であるため、バンクーバーでは流水はまったく見られないそうです。この様に、道東は低い緯度にあるにも関わらず、

流水が見られる特異な地域なのです。

しかしながら、将来標津で流水が見られないようになるかもしれません。

日本の気象研究所は数年前に五十年後の地球温暖化の影響をシミュレーションしました。その結果によると、オホーツク海一帯は世界中で最も地球温暖化の影響が出る地域の一つなのだそうです。もし、それが事実となり、そのような状況が進むと遠い将来、標津の沿岸でも南方系の魚が入り込み、カツオが大漁といった状況になってしまいかもれません。

ところが、以前、広報で紹介したように、日本産のシロザケは海へ降った後、オホーツク海で夏を過ごしてから、秋から晩秋にかけて北洋へと向かうということが二年前、水産庁などの調査により明らかになりました。つまり、地球温暖化の影響が最も現れる可能性があるオホーツク海は、日本のシロザケたちにとって、重要な成長の場であるというわけです。

今後、温暖化が進んだ場合、その影響がシロザケにとって良いものであるか、あるいは悪いものであるかは全く未知です。

みんなの広場

みんなの声を
このコーナーに
お寄せください

町の除雪費はどのくらいかかるの？

Q 今年は例年よりも積雪が少なくようですが、

今年の町の除雪費はどのくらいかかっているのですか？

A 今年の降雪量は例年と比較すると二〇％ほど少ない状況です。町の除雪費は二月二十日現在で三千三百万円を支出（除雪費は、国からの地方交付税で一部補てんされます）しています。（参考：前年度の除雪費の支出総額は四千九百六万円）。

例年三月に入ってから豪雪が予想されることから、今後の降雪状況により除雪費は左右されます。

また、除雪方法は町直営と業

者六社の委託で行っており、除雪路線の延長は、百九十五kmとなっています。

なお、町では効率的な除雪を行うため、次のとおり町民のみなさんにご協力をお願いいたします。

①路上駐車禁止。

②除雪車が作業を終了した車道や歩道に雪を出さない。

③子供には道路周辺でのソリ遊びなどは絶対させない。

★除雪に関するお問い合わせは、建設課（☎2-2131内線226）まで。

山柳

七転び八起きの先でまた転び

女です八十路になっても紅を塗り

またひとつ趣味を増やし歳知らず

福引きに歓声あがる愚痴る人

余裕できいざこれからが物忘れ

春よこい凍結道路いのちがけ

金と笑顔に茶髪のジャンプ台

さりげなく妻は夫に口で勝つ

やくざより熊より怖い中学生

ふて寝する夫に早寝と妻はほめ

小路惣一郎

戸村 寿生

渡辺 孝子

太田 明人

〃

〃

ご意見やご要望など
お寄せください

〈あて先〉
標津町字標津3-5
役場広報統計係
「みんなの広場」コーナーまで

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望などをお待ちしています。なお、匿名や個人・団体の中傷となるものはご遠慮ください。

新町民に スポット

中標津警察署川北駐在所長

お ざわ しん じ さん
小 沢 慎 二



「みなさんとの
ふれあいを大切に」

「釧根地域には初めて来ましたが、とても住みやすいまちですね。人柄もいいし、皆さんきちんとあいさつもしてくれそうですしね」と印象を話す小沢さん（寿町・45歳）。

のイベントに関心させられました」とイベントの盛り上がりには驚いたそうです。仕事では「この地域のみなさんとのふれあいを大切にしながら仕事をしたいと思っています。みなさんも気軽に声をかけてください」と町民に親しまれる警察官を目指しています。

駆け出しは後志管内の余市警察署。「高校を卒業してから民間の会社に二年間働いていましたが、ある時、警察官募集の貼り紙を見て警察官になろうと思ったんです」。

中学では野球、高校ではラグビーでウイングとして活躍するなどスポーツが好きな小沢さん。事件や事故が発生した場合に素早く出動しなければならぬため、なかなかスポーツを楽しむことができないのが悩みとか。

二月十四日に開かれた「ナイトイン川北冬のつどい」では、「町外の人もたくさん訪れ、地域をあげて

後志管内岩内町出身。

4月1日
から

「特別支給の老齢厚生年金」と「雇用保険法による失業給付」を同時に受けることができなくなります

現在、特別支給の老齢厚生年金と雇用保険の失業給付の両方を同時に受給できますが、「引退した人に対する所得保障である年金」と「就業意欲のある人に対する所得保障である失業給付」との併給に合理性がないことなどから、今年4月1日から同時に受けることができなくなり、併給調整が行われます。

調整の対象となる方は…

- (1) 基本的に65歳未満の特別支給の老齢厚生年金の受給権者の方が調整の対象となります。

ただし、平成10年4月1日以降に年金受給権が発生する方に限ります。

特別支給の老齢厚生年金は、失業の認定を受けるために求職の申し込みを行った日の翌月から失業給付の受給期間（または所定給付日数）が満了するまでの間（＝調整対象期間）、その支給が停止されます。

★相談・お問い合わせは、住民課国民年金係（☎内線121）まで。

マルチメディア

インターネットがより身近になります

～OCNダイヤルアクセスのアクセスポイントが標津に開設～

NTTによるオープン・コンピュータ・ネットワーク（OCN）サービス「ダイヤルアクセス」のアクセスポイントが本町に開設されます。

このことからアクセスポイントまでの通信料が開設地域のどこからでも3分10円の市内通話料金でインター

ネットのご利用ができます。

■開設日 3月2日(月)

■開設地域

標津町、羅臼町、尾岱沼全域

★申込み・お問い合わせは、NTT
中標 津営業所（☎01537-2-2123）まで。

戸籍の窓口から

（1月11日～2月10日届出分）

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
盛合 敏昭さん	熊谷 孝子さん	双葉町

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者の氏名
阿部 太貴くん	桜木町	阿部 昭宏 秋子
皆川 博真くん	住吉町	皆川 秀美 美恵
山本 将輝くん	寿町	山本 英恵 司子
佐々木雪乃ちゃん	栄町	佐々木 康知 人恵

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
山口 利吉さん	本町	93歳
白濱 松子さん	本町	40歳
新田 喜一さん	桜木町	82歳
川岸 マツノさん	曙町	81歳
平野 時光さん	桜木町	64歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●町社会福祉協議会に――

活動資金として

・聖友標津支所

●はまなす苑に――

・川畑正一さん・井澤ミドリさん

・小田桐悦子さん・永井勲さん

●標津病院に――

・小田桐悦子さん・新田喜芳さん

●図書館に――

・南 等さん・小野瀬麻子さん

・木下敏さん

町長の動静

（1月21日～2月20日）

1月23日

管内町長、議長と商工会正副会長が新年を迎えて語り合う会

（羅臼町）

1月25日

北村代議士新年交礼会（町内）

1月28日

さけます増殖事業検討協議会

（札幌市）

2月2日

営林署関係中央陳情（東京都）

管内町長会議及び介護保険制度説明会（札幌市）

2月6日

市町村職員共済組合役員会及び

区組合会（札幌市）

2月8日

鈴木代議士新年交礼会（町内）

2月9日

臨時町議会（町内）

2月10日

釧路土現との市町村連絡会議

（中標津町）

2月12日

釧路開建との市町村懇談会（中

標津町）

2月13日

帯広営林支局陳情（帯広市）

北海道町村会常任理事会（札幌

市）

（以上主なもの）

募集

植林をしてみませんか

町では、森林造成のため、植林をする産業後継者を募集しています。

■対象者

農林業、漁業、商工業のいずれかの経営継承者で結婚予定の方

■苗木の種類 アカエゾマツ、カラマツ

※苗木は無償で差上げます。

※植林する土地のない方は町がお貸しします（この場合、町と分収契約を結ぶことになります）。

★申込み・お問い合わせは、農林課林政係（☎内線214・234）

スポーツ

☆ 3月のスポーツ ☆

1日（日）

◇第29回道民スポーツ根室冬季（スキー）大会

〔9時30分～金山スキー場〕

8日（日）

◇第16回室内ソフトテニス大会

〔9時～総合体育館〕

9日（月）

◇第10回室内ゲートボール大会

〔9時～総合体育館〕

15日（日）

◇第1回少林寺拳法大会兼技術講習会

〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

—町・民・憲・章—

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。

◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。

◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。

◇心を豊かにし文化を高めましょう。

◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

3月の健康相談・健診日程表

乳 幼 児

■乳幼児相談

17日（火）〈標津〉

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／保健福祉センター「ひまわり」〕

※午前の部 10・13ヵ月児、午後の部 4・7ヵ月児対象

19日（木）〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13ヵ月児対象

■歯ピカ教室

9日（月）

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／あすばる〕

成 人

■一般健康相談

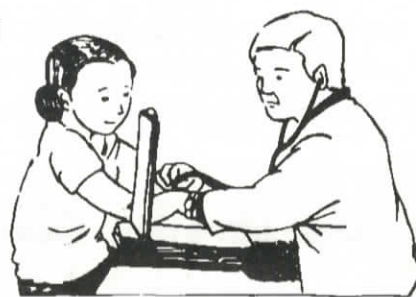
27日（金）

〔13時～16時／ひまわり〕

■糖尿病健康相談（予約制）

18日（水）

〔10時～16時／ひまわり〕



★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2-1515）までお気軽にどうぞ…

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 （祭日は休みです）〈有料〉	不 燃 物 収 集 日 〈無 料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	3月5日（木）・3月19日（木） 3月26日（木）・4月2日（木）
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	3月6日（金）・3月20日（金） 3月27日（金）・4月3日（金）
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	3月4日（水）・3月18日（水） 3月25日（水）・4月1日（水）

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

ど・う・ぞ・ご・利・用・く・だ・さ・い

学費などの資金をお貸ししています

町教育委員会では、子供の学校生活のための学用品代や給食費などのほか、義務教育以上の各種学校の進学・在学のための学資の支弁などが困難な方々に対して次のとおり援助・貸付をしています。

■対象者・貸付額など 下表のとおり

■受付期間 4月10日（金）まで

援助・資金名	対 象 者	援 助 ・ 貸 付 額	
就 学 援 助 (小・中学生対象)	・現在生活保護を受けているまたは受けていたが停止や廃止のため経済的に困っている方 ・長い病気、突発的な事故や災害などのため経済的に困っている方 ・その他収入が少ないなど経済的に困っている方	町教育委員会にお問い合わせください。	
奨 学 資 金	・平成10年度に義務教育以上の学校に進学または在学中の方で、学資の支弁が困難な方	高校	月額 8,000円
		大学・短大 看護婦学校 各種専門学校	月額 20,000円
		保健婦学校 助産婦学校	月額 25,000円

★申し込み・お問い合わせは、町教育委員会（☎2-3110）まで。

税

所得税の確定申告は
お早めに

平成9年分の所得税の確定申告はもうお済みでしょうか。

期限は3月16日(月)までとなっています。期限間近になると税務署や税務課の窓口が大変混雑しますので、お早めに済ませましょう。

なお、申告に関する相談に随時応じていますので、お気軽にご相談ください。

★相談・お問い合わせは、根室税務署（☎01532-3-3261）または税務課（☎内線111・117）まで。

この機会に自分の
固定資産のご確認を

町では、平成10年度に課税される固定資産税の基礎となる「固定資産課税台帳」の縦覧を次のとおり行っています。

ぜひこの機会に自分の固定資産の確認をしてみたいかたがでしょうか。

■期 間 3月2日(月)～3月20日(金)
午前8時45分～午後5時15分

■場 所 税務課窓口

★縦覧・お問い合わせは、税務課税務係（☎内線111・117）まで。

防災

転出の際の個別受信機
取り扱いのお願い

3月から4月にかけては、転勤などにより転出・転入者が増加する時期となります。

現在、各家庭に個別受信機を設置していますが、町外や違う地区での使用はできませんので、転出される方は、次のとおり取り扱いをお願いします。

■公住・職員住宅・官舎に居住の方

現在居住している住宅にそのまま取り付けておいてください。

■上記以外に居住の方

住民課防災係までご連絡ください。

★連絡・お問い合わせは、住民課防災係（☎内線128）まで。

知っておきたい
消火のコツ

～天ぷら鍋の油が燃えだしたら～

- ・天ぷら油火災に適応した消火器消火用具を使用する。
- ・すみやかに器具のガス栓を閉める。
- ・手前から炎を押さえるように鍋のふたをする。
- ・消火器がないときは、鍋の口より大きなぬれたふきんや厚い布を水滴が落ちないように固くしぼり、手前から全体を覆うようにかぶせる。
- ・火が消えても、すぐにふたや布を取ると再び燃えだすことがあるので、油が冷えるまでそのままにしておく。

—標津消防署—

まちの声 141

「この町に		
	戻って…」	



さ さ き まさゆき
佐々木 政行さん
(弥栄町)
標津病院勤務

高校卒業と同時に標津を離れ十年ぶりにこの町に戻り、もう五年が過ぎてしまいました。
最初の就職先が釧路市だったこともあり、さほど懐かしさというものはありませんでした。が、高校までの立場と社会人としての立場の違いから、子供の頃住み慣れた町というよりは、

新しく生活する場という印象が強かったように思います。
五年を振り返ってみると、「まちおこし」「社会活動、サークル活動への参画」など経験したこともなく、なんて「非町民な」と思うことも少なくありませんでした。特別な意識もなく、ただ無関心過ぎたのだと今は思っています。
自分自身、職業に関連づけてそのような活動に貢献することができればいいと考えてはいたので、患者さんとのふれ合いを大切に、「薬のこと」や「病気のこと」を理解してもらい、「ただ薬をくれる人」から一歩進んだ薬剤師を目指し頑張ろうと考え試行錯誤してきました。
たぶんこれから、一生を通じて終わることのない、言い換え

れると到達点のない目標として努力するだろうと思います。
これからのような形で、町の活性化などに参画できるのかがありませんが、そうした活動に励んでおられる方々とはまた別の方向性、立場から町の活性化、町民の健康維持などに力を注ぐことができれば幸いです。

当面、病院薬局内での仕事に終始してしまうかも知れませんが「あなたの薬局」「患者さんとの会話・意思の通える薬局」を目指し、人と人とのふれあいを一番大切にしたい仕事ができるように一生懸命努力し、頑張りたいと思っています。薬局でお会いした時には（あまり頻繁に会うことは良くないことなのでしようが）、気楽に話しかけてくださればと考えています。

冬季オリンピック・長野大会開会式の放映中、胸に覚えた何か熱いものにひたりながら終わりにしたいと思います。
◇
次の「まちの声」は緑町の井上玲さんです。

人のうごき

- ・人口 6,624人 (- 3)
- ・男 3,220人 (+ 1)
- ・女 3,404人 (- 4)
- ・世帯数 2,341世帯 (+ 5)

◇平成10年2月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

- ・人身事故 2件 (2)
- ・負傷者 3人 (3)
- ・死亡者 0人 (0)
- ・物損事故 19件 (33)

◇1月16日～2月15日まで
()は累計

編集のまど

▽先月は「漁業」、今月は「農業」の記事を掲載。本町の基幹産業がどのような取り組みをしているのか、みなさんに知らせることは重要なこと。今後もこのような記事をもっとわかりやすく掲載していきたいと思っています。▽「忠類川の座談会」では、司会を担当。話を聞き出す難しさを痛感。さて、内容はどうでしたでしょうか。 (H)
▽二月四・五日に「北海道広報協会釧根地区部会」が川湯で行われ、釧根地区の広報担当者が一堂に集まりました。その中で、広報紙のクリニックでは、講師からレイアウトなどで厳しい意見や指摘などが。▽また、他の市町村のいろいろな苦労話なども聞け、自分自身、今後の広報紙づくりに向けてとてもいい勉強になりました。 (M)

広報しべつ

- ・発行日/平成10年3月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務住民部企画振興課広報統計係
〒086-1604 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎01538-2-2131・FAX2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)